

(最優秀作)

あぶない あぶない ひよつこりとひだ
うっかりおうたん

藍綬褒章・県政功績者両章に輝く

小林徳太郎氏



二十三年間にわたる交通安全への献身的努力が認められ、大月交通安全協会会長小林徳太郎氏は、このほど藍綬褒章および県政功績者表彰の二つを受賞されました。

同氏は、すでに交通栄誉章(緑十字銀章)も受賞されており、また、大月交通安全協会は、本年度交通安全運動において優勝し、先般の表彰式に優勝旗を獲得しており、さらに新春一月二十日、日比谷公会堂において行なわれる交通安全全国総ぐるみ運動中央大会におきても、全日本交通安全協会会長から表彰されることに決定しているなど、同氏の日ごろの努力が開花結果したものと称賛され、今後の発展が期待されています。

**安全運転教育指導員
地方講習会開かる**

各都道府県における、安

安全協会の主催によるもので、全国の各都道府県から出席し準備委員十四名（連

あふない あふない
ひよっこりとびたし うっかりおうだん

昭和四十六年
交通安全年間ス
ローガン決まる

全日本交通安全協会では、ことしも交通安全年間スローガンの募集をしたところ、応募総数は二万三万、一、五二二点の多きに達し、審査の結果、次のとおり最優秀作（内閣総理大臣賞）三点、佳作四〇点が決定されました。

○運転者向けのもの
車を降りたら
あなたも歩行者です
油断なく
見る待つゆするよい運転
「自分だけは」
と思う心が事故のもと

守る 待つ
ゆるするは心の運転免許
交通安全
七〇年代の見せどころ
抜かれても抜き
返えさすにマイペース
越されても
笑顔で守ろうマイペース
事故なくす決めては一つ
「無理するな」
車間距離
あなたは私を守るため
歩行者は
あなたを信じて歩いてる
ます止まれ
横断歩道は人のもの
ます徐行
あそこの子供とお年より
飲んで乗る
あなたは天国家族は地獄
はなさすにノその手が

あせらずに 待つ、見る、守る、注意して
安全は優先権よりもまず確認
交通安全
かけ声よりも小さな注意
止めるより
止まった車を確かめて
優先に あまえる歩行が 事故を生む
横滑と
足らぬ注意が死をまねく
交通安全
ひとりひとりがみな主役
おちついて
左右確認 上手な横断
止まる 見る
渡る順序が身を守る
その一歩
ふみ出す前に右・左
信号が変わった瞬間
事故のもと
人生にサヨナラは

悲しいでしょう
 だつたら青で
 渡りましょう
 離すまい
 車から目を 子から手を
 ○こども向けのもの
 とまらない
 くるまもあるから
 よくちゅうい
 いってらっしゃい
 こうつつぎそく
 まもつてね
 あぶないよ
 おうちがちかいと
 かけるみち
 ひこうでよんでも
 わたるまい
 おうだんほどの
 ないとこ
 とまろうね みようね
 ママとやくそく
 したっけね

うっかり ぼんやり
ケガのもと ゆつくり
しっかりみてわたろ
あぶないよ くるまは
うしろにもさがるんだ
まもうね
おうちにつくまで
こうつうきそく
いつも「ボク」らの
とおるみち
いつも「クルマ」
によくちゅうい
みんなで守ろう右側通行
みんなやめよう
よい子は よく見て
よい横断
あぶないぞ！
あわてる登校
ふさげる下校
やめようね
自転車相乗り 片手乗り

長します。

③ 急ブレーキ、急ハンドルを避けるためには平凡なことですが速度と車間距離によく注意することです。

④ 積雪、凍結の路上での追いつきはなるべくやめましょう。前車のわたちのあとを走るのが一番安全です。

⑤ 路面が凍結したところ、つたりしているところで停車すると、次の発進で意外に苦労することがあります。車間距離と速度に注意し、もし前車が速度を落としても最徐行で接近し、なるべく停車しないようにします。

⑥ もし停車して発進が難しくなったときは、セカンドギヤに半クラッチで出ます。また、一度軽くパツクして反動をつけるから前に出るのも効果的です。

⑦ 路肩の残雪は凍ったりしていて最悪の条件にあることをえいましょう。車輪がそこをまよとハンドルを

急ブレーキ 厳禁

こんな点に気をつけよう

▼携行品の準備
①タイヤチェーン。②かま
たん、板ぎれ類。③軍手
― 掌面ゴム引きがよい。④防
寒用の毛布類と懐中電燈。
⑤フロントガラス曇りどめ
液。⑥大きなスツップ。⑦

雨合羽。⑧はだめ2個。⑨
長靴。⑩ワイヤロープ。

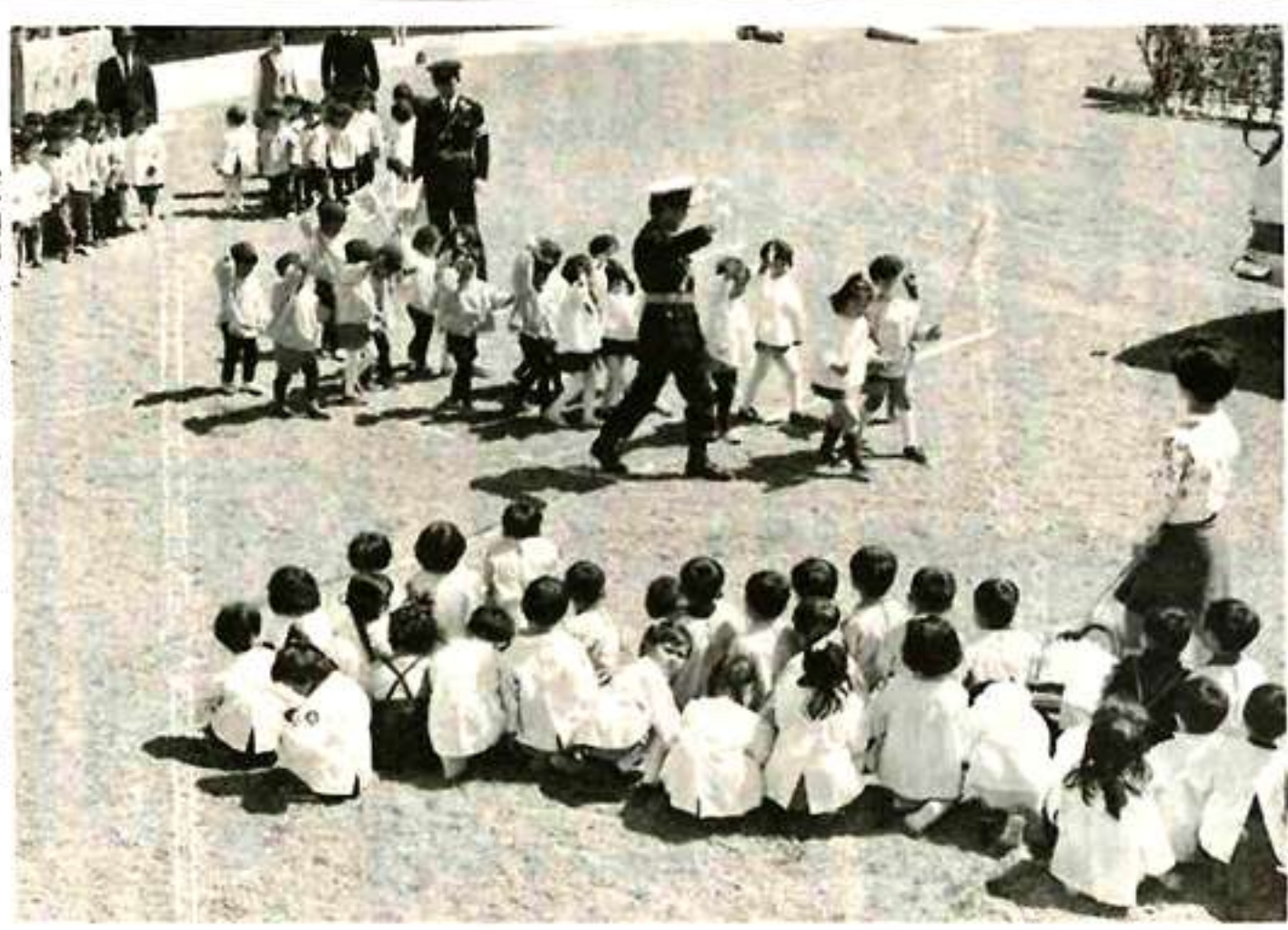
▼道路や気象状況をつかむ
出発前、気象通報や道
路情報に注意する。
① 路傍の気象掲示板、電
光標識板その他の掲示に

キーは何にも分けて軽くふんでください。
急ハンドルを切っても、車は同じような状態になります。なめらかなハンドル操作が必要で、また、クランチを不必要に切けることはスリッパを助

さい。強風のときは⑦ハンドルをしっかりと握ること。⑧スピードを出さぬことが要点です。突然強い横風にあおられると後部が流され、車は風上に引かれる感覚になります。慌てず静かに、ハンドルを修正します。

⑩ たままにして、サイドブレーキを引いて、晴れまを待ってください。

⑪ 風について、谷あい、橋の上、トンネルを出たとき



交通安全教育は 何回でもくりかえして

合会のある都道府県の代表）を選出し、すみやかに全国組織をつくることになりました。
 なお、当日、次の申し合わせが行なわれました。
 本県からの出席者（四名）

南甲府交通安全母の会	会 長	長谷川けさの
副会長	内田 芳子	
県本部交通企画課	次 席	太田 榮造
山梨県交通安全協会	専務理事	吉田 文男



第12回県下中学生交通安全弁論大会

運転者教育に安全
運転センターを設置

道交法改正、警察庁の試案

警察庁に去る十月二十四日、現行の道路交通法を大幅に手直しする改正試案をまとめ、発表しました。同行では、昨年から道路交通法の全面改正に着手し、その第一段階として、飲酒運転に対する罰則の強化や交通巡視員制度の新設などを盛り込んだ改正道路交通法を去る八月二十日に施行したが、今回の試案はその第二段階分であります。

今回の改正の骨子は①歩行者天国、買物道路、遊歩道路など、さまざまな名称で呼ばれている交通規制の法的な裏づけ、②交通公害防止のための交通規制、③大都市への車の乗り入れ制限、④運転者教育のための安全運転センターの設置、交通安全教本（ハイウェイコード）の作成、⑤交通ルールに関する規定の整備——などであります。

警察庁では、この試案を去る十月二十六日の全国警察本部長会議で説明、第一線警察官による検討をはじめとして、交通警察懇談会ほか部外の見解や批判を聞き、国民の声を反映させた成案を作り、次の臨時国会または通常国会にはかりたい意向であります。

今回の改正は、第一次改正とあわせて、新しいモータリゼーション時代に即した道交法の総仕上げがねらいとなっています。

今回の改正の第一の特徴は、これまで法的根拠がはっきりしなかった「歩行者天国」に対し、区域や道路の区間を定めて自動車の種別や用途別により規制ができる規定を整備し、明確に規定化したこと。また、交通公害についても、これを防止するために交通規制をすることができるよう規定を整備します。

さらに、都市部に、いはては車の乗り入れ規制をするとともに、駐停車が簡単に

できるようにするため、パーキングメーターをつけるようになるほか、大量輸送機関であるバスの定時運行を確保するためにバスレーンを設置する。

特徴の第二は、運転者教育を徹底して行なえるようドライバリーに公安委員会が行なう講習を受けることを義務づけていること。このため、国家公安委員会は、正しい交通の方法をわかりやすく解説した「交通安全教本」（ハイウェイコード）を作成することになっています。

これは、数年前からイギリスで実施している「ハイウェイコード」にならって作成するもので、安全な交通のための「ルールブック」。現在全日本交通安全協会が発行している「みんなが守る交通法規」を発展させたもの。法はもとより自動車の構造や安全な運転をするために必要な知識なども盛りこみ、自動車の運転免許試験も現行の法令や

「まだ渡れる」は「もう危ない」

構造を統合してこの本から
出題します。
ドライバ―の教育機関と

しては都道府県に「安全運
転センター」(法人)を設定
し、処分者講習、更新時講
習、指定自動車教習所指導

定では三車線以上の車両通行帯が設けられているときは最右側を除いて、スピードに応じた車線を通行するキープレーン、大型自動車は、他の車両の追い越しを容易にするための特別の車間距離をとる、交通が混雑しているため、信号が変わっても交差点を出ることができないときは、進めの信号でも交差点にはいってはいけなく、幅員の広い一方通行路では、原則として右側の駐停車を認める、自動車から離れるドライバは盗難防止の措置をとる、などを定めています。

交通戦争——なんて嫌なこ
とばでしよう。日に日に、
私たちのしにかかってく
る、このことを、誰が作
ったのでしょうか。

私が、昨年この壇上に立
つてから早くも一年たった
今、またここで、心から事
故防止を叫ばなければなら
なくなつたことを本当に悲

たタクシースに、自転車とともども十メートルも引きつづられ即死したという事故でした。事故の騒ぎで出てきた近所の人たちは事故のむくさに目をそむけていたとニュースでは報道していました。が、後に残された家族の人々の気持はどうだったのでしょうか。

「私の所に帰ってきて」と
んなに叫んでも、もう、あ
の笑顔は戻らない。きつと
狂い死にしてみようでしょ
う。

なんの不幸もなく、幸せ
に暮している、今の私が考
えた気持など、とても遺族
の方の気持とは、ほど遠い
ものと思います。

さて、このような悲惨な
ことが少しでも減少するこ
とを願って、私なりに考え
た問題を上げてみたいと思
います。

第一に、私たち自身の問
題です。

毎日、次から次へと重な
る交通事故の話題、しかし
その悲惨な事故は、知らず

いと思います。そうすることによって、事故の恐ろしさを知ることによって、自分を事故から守るという心づかいが生まれてくると思います。

第二には、歩道の問題です。

この山梨県に、ちゃんと歩道のついている所が、ど

す。

一番大切なもの——。それは、人の命なのです。産業の発達には、本当にすばらしいと思います。しかしその陰に、少しでも犠牲者があつたのなら、本当の意味の進歩にはならないと思います。

すべての道に歩道がつけ

それなのになぜ、なぜ、みなさんはこの現状を見て防ごうと、立ち向おうとしないのです。本当に幸せを願うなら、今こそ、事故ゼロをめざして立ち上がるべきです。

道路が狭い、交通設備が整っていない、車が多すぎるなど、私たちのまわりに

る講習を行なわれます。

特徴の第三は、交通ルールに関する規定を細かく整備することで、運転者の注意義務、交通事情の変化に伴う規定などを新設しています。

運転者の注意義務では、追い越しや行き違いをするとき、前車または対向車と

交通安全国民総ぐるみ運動中央大会
のお知らせ

■ハッピー手をあげ



- 会場は黄色い旗、ハッピー手によるお楽しみ。
- 手なげるときは、手のひらで上げ、顔などは隠さず、
- ヤマイと取りまわす。

事故ゼロに達する日まで

河内節子

に現在の日本は、交通戦争
激化の世といっても決して
言い過ぎではないでしょ
う。

私は、いつかこんな事故
をニュースで耳にしたこと
があります。

それは、自転車に乗った
主婦が、友人の家からの帰
えりにスピードを出し過ぎ

ついさっきまでの幸せが一瞬の事故によつて奪われる、その悲しみは、ことばでは言い表わすことのできない氣も狂わんばかりのものであったと思います。

もし、私が母を失つたら――考えることすら恐ろしいことです。やさしかったお母さんは、もういない

今、私がこうしている間にも、この広い青空のもとで、交通孤児が生まれ、子ど、父の親がとほうにくれ、どん底の悲しみ、苦しみにとおわれて生活しているのです。

月日では、決して悲しみを和けてはくれないのです。

知らずのうちに、何事もなかったかのように忘れられゆく。無関心すぎるのではないでしょうか。

私たちは事故の恐ろしさを、身近に感じないいかばかりかもしれません。けれども、もっと真剣に、自分のものとし一つ一つの事故について考えなければならな

の位あるでしょう。本当に数少ないのです。交通の激しい国道でさえも歩道がないのです。

いまは、車優先の世の中ですが、それではいけないと思うのです。「人間優先」私は、このことはを、モットーとしなければならぬと強く言いたいのです。

ことを恐れ、「安保反対」とアラカードを片手にデモをくりひろげました。

私たちの周囲には、銃弾が飛ぶようないくさはありません。しかし、私たちは今、戦争をしているのです。自分では気づかなくとも、車という恐ろしい武器をもって……………。

ば、十年後、あるいは二十年後、かならず平和な明るい日を迎えることができる」と、私は、固く信じます。そして、その日が一日も早く訪れることを願ひながら、その日まで、私は声を大にして叫び続けます。

事故ゼロに達する日まで

傷させたら、損害賠償でたいへんなことになりま

す。

の間に安全な側方間隔を保つこと、やむをえないとき以外は急ブレーキを使ってはならないこと、横断歩道に近づいたときは、横断する歩行者の通行を妨げない

で分科会が行なわれますが、この方は各県一三名と制限があります。

しかし、第二日目（二十日）の大会本会議は、午後一時から、千代田区日比谷公園内の、日比谷公会堂で行なわれますが、主催者側では、各交通安全協会員の多数参加を望んでいます。



「まだ渡れる」は「もう危ない」



飲酒運転の防止に重点

家庭の安全管理を徹底

年末年始は、例年交通事故が多発し、悲しい正月を迎える家庭が多くなっております。年末年始は、家族そろって

年末年始の事故防止運動

12月20日～1月15日

ての遠乗りや、また、飲酒の機会も多く、交通事故の情は一段と激しくなることが予想されるので、県民総ぐるみで交通事故防止を図

ることになりました。

第一目的

この運動は、年末年始における飲酒運転の追放を重点とし、歩行者、運転者、運転者の雇主に正しい交通ルールの実践を習慣づけ、特に家庭における交通安全管理を徹底することによって、交通事故を防止することを目的とする。

第二期間

十二月二十日(日)至一月十五日(金)

第三 この運動のスローガ

○酒飲めば 愛車が凶器に早変わり

○酒飲めば 無理な追越し

○酒飲めば 事故を呼ぶ

○交通安全 わが家の管理

○こわいみち あそびな

○かけるな とび出すな

第四 重点目標

交通事故の誘因となる飲酒運転の追放、運転者の自覚、社会慣習の改善を重点目標として推進する。

(一)飲酒運転の追放

(二)無謀運転の追放

(三)安全運転家庭管理の徹底

(四)子どもと老人の事故防止

第五 推進事項

この運動は、七十六万県民総参加による県民運動として推進し、身近な実践活動を通じて、飲酒運転の追放をはじめ、年末年始の

交通事故防止を期するため次の事項を実施する。

(一)飲酒運転の追放

(2)酒を飲んだときは車を運転しない

(3)車を運転する人には酒を飲ませない

(4)酒を飲んだ人には車を運転させない

(5)職域、地域で飲酒運転追放運動を推進する

(一)無謀運転の追放

(1)つかれているとき、イライラするとき、病気のとき、眠いときは運転しない

(2)一日一回、必ず車の点検整備をする

(3)無免許、スピード違反、無理な追越し、その他危険な運転はしない

(4)踏切を通過するとき、必ず一時停止して安全を確認する

(5)バス停を通過する際は、バス乗降者に対する安全確認に細心の注意を払って安全運転をする

(6)無謀運転を現認したる、すぐ警察へ通報する

(一)家庭の安全管理の徹底

(1)家族ぐるみで反省会(年末)および安全運転の誓い(年始)をする

(2)車を運転して来た客には、酒類を出さない慣習を、地域ぐるみで推進する

(3)飲酒する会合に出るときは、車の運転はさせない

(4)家庭の交通安全教育を徹底する

(5)家庭においては、車のキーは母親(主婦)を保管責任者とする

飲んで乗る あなたは天国 家族は地獄



習を、地域ぐるみで推進する。

(3)飲酒する会合に出るときは、車の運転はさせない

(4)家庭の交通安全教育を徹底する

(5)家庭においては、車のキーは母親(主婦)を保管責任者とする

飲んで乗る あなたは天国 家族は地獄

かける。

(5)老人や体の不自由な人が歩いているときは、一時停止か徐行をする

(6)その他の推進事項

(一)関係業者の協力

(1)旅館、料理屋、飲食店等では、車を運転する人には酒類を提供しない

(2)酒を飲んだときは車を運転しない

(3)車を運転する人には酒を飲ませない

(4)酒を飲んだ人には車を運転させない

(5)職域、地域で飲酒運転追放運動を推進する

(一)無謀運転の追放

(1)つかれているとき、イライラするとき、病気のとき、眠いときは運転しない

(2)一日一回、必ず車の点検整備をする

(3)無免許、スピード違反、無理な追越し、その他危険な運転はしない

(4)踏切を通過するとき、必ず一時停止して安全を確認する

(5)バス停を通過する際は、バス乗降者に対する安全確認に細心の注意を払って安全運転をする

(6)無謀運転を現認したる、すぐ警察へ通報する

(一)家庭の安全管理の徹底

(1)家族ぐるみで反省会(年末)および安全運転の誓い(年始)をする

(2)車を運転して来た客には、酒類を出さない慣習を、地域ぐるみで推進する

(3)飲酒する会合に出るときは、車の運転はさせない

(4)家庭の交通安全教育を徹底する

(5)家庭においては、車のキーは母親(主婦)を保管責任者とする

飲んで乗る あなたは天国 家族は地獄

Uターンは2動作で

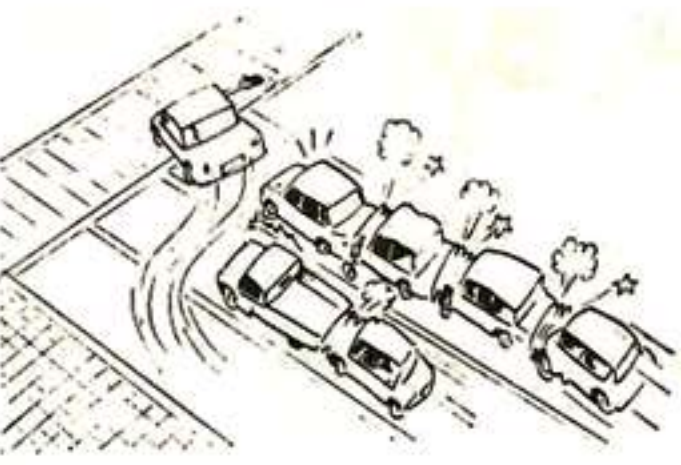
レーンマークは踏むな

安全運転教室(その二)

安全運転の考え方と方法

一、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

二、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。



三、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

四、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

五、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

六、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

七、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

八、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

九、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

十、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

十一、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。

十二、Uターンは他の交通を妨害することが多いからなるべく行わない。相手が二輪車または自動車である場合は、自車から見て、道路幅が五メートル程度の場合には、一番左に寄ってUターンをしようとする。道路幅が五メートル以上の場合には、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。Uターンの動作を分けて行なうことは、Uターンの動作を分けて行なうことが望ましい。